



## プレクルーズトレーニング実施報告書

提出年月日： 2015 年 7 月 8 日

氏名：井上麻夕里

所属機関・職名：岡山大学大学院自然科学研究科・助教

IODP 研究航海番号 および航海名	Exp. 359 Maldives Monsoon and Sea Level
乗船時の役割	Inorganic geochemist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動含む)	2015 年 6 月 23 日 ~ 2015 年 6 月 25 日
実施場所	高知コアセンター
実施による成果と今後の計画	
<p>今回のプレクルーズトレーニングでは、1 日目にまず自己紹介を行い、各自の役割について認識した。その後、IODP の概略やサンプルリクエストの書き方 (リクエストの仕方)、また実際に乗船した際のコアフローや船上でのサンプル分配やリクエストについてなど全体の具体的な流れをまず座学で学んだ。</p> <p>2 日目の午前は過去の掘削で今回の掘削点に一番近い ODP Site 716 のレガシーコアを事前のサンプルリクエストのもと、実際に見学し、顕微鏡観察も行った。この時には、コアを扱う際の注意点などを本物のコア試料を使用して説明して頂いた。コア採取時から随分時間が経過しているため、テクスチャーは今回掘削されるコアとは異なるが、それでも実際のコア試料を見ることはイメージしやすく有意義であった。</p> <p>2 日目の午後は、始めに Organic Geochemist の仕事内容について経験者 (高知大学・池原先生) からレクチャーして頂き、船上で使用する測定機器も教えて頂いた。その後、Micropaleontologist の経験者 (高知大学・岩井先生) よりレクチャーして頂いた。この際に、Micropaleontologist としての仕事内容だけではなく、船上での研究室の配置であるとか、生活のことなど、日常生活に関わることも具体的に教えて頂いた。特に岩井先生は直近の JR 号の航海に乗船していたので、最新の JR 号の様子を伺うことができ有益であった。</p> <p>2 日目の夜は懇親会を開き、この 1.5 日間で 4 人がお互いに話をする機会もあったが、座学や役割毎のレクチャーも多かったので、懇親会でさらに話をするのができたので良かった。</p> <p>以上のように、内容の濃いプレクルーズトレーニングであり、何より、今後分からないことや相談事が出来た時に、誰にコンタクトをとればいいのか、ということが分かり、今回顔を合わせてレクチャーしてもらったので、そのような相談もしやすくなったと思われ、大変有意義なトレーニングであった。</p>	
備考	

### 注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



## プレクルーズトレーニング実施報告書

提出年月日：2015年 6月 30日

氏名：中国 正寿

所属機関・職名：創価大学院工学研究科

IODP 研究航海番号 および航海名	Exp. 359 Maldives Monsoon and Sea Level
乗船時の役割	Organic Geochemist (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動含む)	2015年 6月 23日 ~ 2015年 6月 25日
実施場所	高知コアセンター
実施による成果と今後の計画 <p>高知コアセンターにて IODP Exp.359 に向けてのトレーニングおよびミーティングを行った。具体的内容を下記に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ トレーニング 座学で、乗船上での注意点、作業内容、船中の様子などを教えていただいた。特に、コアからサンプリングする際の流れ、掘削法や道具の名前などコアに関係することは入念に教えていただいた。さらには、Organic geochemist や Micropaleontologist における詳しい作業内容を、Organic geochemist や Micropaleontologist といった枠に関係なく、それぞれ学び把握した。</li><li>・ ミーティング 本ミーティングは、Exp.359 の日本枠メンバー初の顔合わせの場ともなった。それぞれの役割や目指す研究目標の共有、今後の流れ(ビザの申請など)を行った。また、Exp.359 の垣根を超え、合同でプレクルーズトレーニングを行った Exp.356 のメンバーとも同様の情報交換を行った。</li></ul> <p>これらトレーニングとミーティングは、これまではっきりしなかった航海に対するイメージを明確にした。私にとって、本航海が初の航海となり、プレクルーズトレーニングを行う前までは、イメージが漠然としていた。コアの取り方、乗船場での役割など具体的な内容をお伺いしたことにより、乗船までの自身の目標(“乗船までに取り扱う機器についての操作方法の把握する”など)およびサンプルリクエストの方向性がさらに明確となった。さらには、トレーニング上で、自身の分野(Organic geochemist)のみならず、Micropaleontologist などの仕事内容を把握したことにより、乗船上の全体的な内容把握に役だったことはもちろんのこと、コアを用いた研究という大きな分野における相互の役割回りを実感した。このことは、これまで化学的知見でしかコアデータを見ていなかった私にとって、新しい発見であり、新しい可能性のように映った。今回のプレクルーズトレーニングは、乗船へのイメージを明確にし、コアを用いた研究が様々な研究者の手によってひとつの形を成しているという実感を持つ大切な場となった。このような場を提供して下さった高知コアセンターの担当の諸先生方に感謝申し上げます。</p>	
備考	

### 注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org)でご提出ください。



## プレクルーズトレーニング実施報告書

提出年月日： 平成 27 年 7 月 8 日

氏名： 新野 薫

所属機関・職名： 山形大学大学院理工学研究科地球環境学専攻博士前期課程 2 年

IODP 研究航海番号 および航海名	Exp.359 Maldives Monsoon and Sea Level
乗船時の役割	Micropaleontologist (Radiolaria) (例 Sedimentologist)
出張期間 (移動含む)	平成 27 年 6 月 23 日 ~ 平成 27 年 6 月 25 日
実施場所	高知コアセンター
実施による成果と今後の計画 <p>プレクルーズトレーニングは、高知コアセンター職員の方・乗船経験者の方からの講義と、実際のコア観察との大きく二つに分けて行われた。講義では、IODP の概要からコアの掘削法や番号の付け方、サンプルリクエストの手順まで、船上でどのように行動するべきかを具体的にお話しして頂いた。コア観察では、IODP において掘削されたコアを用いてスミアスライドの作成・作成したスライドの光学顕微鏡による鏡下観察を行った。</p> <p>乗船経験者の方にお話を伺うことで、イメージしづらかった船上のようすをある程度つかむことができ、船上での規則や乗船前に用意しておくべきもの(文献等)を知ることができた。また、今回のプレクルーズトレーニングで、Exp.359 に乗船する Pratiwi さんと中国さんとは初めてお目にかかった。実際にお会いしてお話しすることで、お互いがどのような研究計画に基づいてどういったサンプルリクエストをしているのかを大まかに理解することができた。</p> <p>【今後の計画】</p> <p>IODP に提出済みのサンプルリクエストについて、訂正の必要があることがわかった。IODP の curator の方に変更を受け付けて頂いたので、できるだけ早く新しいサンプルリクエストを提出する。また、船上で自分の研究計画とサンプルリクエストについて発表するためのプレゼンテーションと、プレゼンテーションのためのレファレンスの準備、年代決定に用いる放散虫の種名の列叙などを行う。</p>	
備考 なし	

### 注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構研究推進部内 IODP/J-DESC 旅費サポートに E-mail (travel@j-desc.org) でご提出ください。



## Report on Pre-cruise Training

Reporting date (Day/Month/Year): 08/July/2015

Name: Santi Dwi Pratiwi

Affiliation and job title: Akita University/Doctoral Student

IODP Expedition Number and Name	IODP Expedition 359 Sea Level, Currents, and Monsoon Evolution in the Indian Ocean
Responsibility in the expedition	Micropaleontology (Nannofossil)
Activity Period (including transportation)	From (Day/Month/Year) 23/June/2015 to (Day/Month/Year) 25/June/2015
Venue	Kochi, Japan

### Result of the training and future plan

The pre-cruise training helps and provides information as a general overview of what and how works systems in the IODP cruise, the purpose of this expedition as well as what our target in this expedition. In addition, we can also get to know another scientist from Japan who takes part in this expedition, sharing and discussing the research done. The first day, 23 June 2015 training was started from 13:30 until 17:30 and was opened by the Kochi Core Center (KCC) staff by giving a brief lecture on the general overview of what IODP is all about, such as: IODP expedition and history, how to read and labeling of core samples in the cruise, movement of the core samples on the lab in the cruise, details rule of the core sample request and the types of cruise used in IODP expeditions and their respective functions.

The second day, training started at 09:30 am by doing observation of core sample from ODP 716 - site 115A (pre- requested before pre-training). Then, followed by a lecture of the physical properties specialist about the equipments that are used in the cruise and shown in the KCC laboratory. The second day pre-cruise training is closed by the lecture from Professor Masao Iwai (Kochi University) which is about what micropaleontology scientist does as a division of labor and how the images of working in the cruise. He explained about the condition during the expedition in the cruise, the equipment and the way to scientist reports during the expedition. We also had question and answer session with Professor Masao Iwai about his experiences during joint in the IODP expedition. He gave some other important information for preparation before the expedition, especially about report and presentation in the cruise.

The last day was the session for discussions and sharing with our scientist expedition group about how the research will be conducted, sample request and exchange information

### Notes

The pre-cruise training is very important for scientist who first time participated in IODP expedition but with a short time (2 days) is enough.

### Note:

1. The report should be submitted to the J-DESC/IODP Travel Support by email (travel@j-desc.org) **within two weeks after the activity.**